

協働評価シート

事業名		父親の子育て支援推進事業		実施年度	平成21年度	
部 局		福祉部	課 所	保健センター		
団体等の名称		NPO法人 読書普及協会愛媛支部				
評価項目		評価者	評価	左の評価の説明		
相互理解	それぞれの特 性や立場を 理解し合え たか	お互いの特 性や立場を 十分に認 識、尊重し て、事業を 実施するこ とができた かどうかを 評価。	団体等	A		
			市	A		
			相互協議 結 果	お互いの特性や立場を尊重し、事業を実施することができた。		
対等	双方が対 等の立場 に立って いたか	対等な立場 で協議、事 業実施がで きたかどう かを評価。	団体等	A		
			市	A		
			相互協議 結 果	対等な立場で協議し、事業実施が充分できた。		
自主	市民の自 動的な活 動が尊重 されたか	自主的活動 を十分に活 かして事業 効果を増加 させたかど うかを評 価。	団体等	A		
			市	A		
			相互協議 結 果	自主的に活動ができた。		
自立	市民の自 立化を阻 害しな かったか	依存体質が 助長される など、市民 の自立化が 阻害される ことがな かったかど うかを評 価。(新たな 自発的事業 展開につな がり自立化 が進んだ 場合はA評 価)	団体等	A	今回の事業経験を生かし、新たな事業を企画している。	
			市	A	市民の自立化を阻害することはなかった。	
			相互協議 結 果	NPO法人読書普及協会愛媛支部、新居浜子育てネットワークでは、それぞれ次年度の事業を企画しており、保健センターでも両親学級の中で、協働で実施する予定である。		
目的共有	双方が協 働の目的 を共有し たか	協働事業の 目的は十分 に共有して 事業実施が できたかど うかを評 価。	団体等	A		
			市	A		
			相互協議 結 果	協働事業の目的を共有できた。		

情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業が実施できたかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	情報を共有できた。	
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	公開できた。	
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	お互いの特性を活かし、相乗効果が発揮できた。	
市民の関心や参画意欲を引き出す事業の展開がされたのか、		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業の展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	市民の関心や参画意欲を引き出すことができた。	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか等（自由記述）

団体等	<p>講演会は多くの人に参加していただき、父親の育児参加への意欲が啓発された。学習会は参加人数は少なかったが、内容が濃く参加者には好評であった。</p> <p>保健センター、NPO法人読書普及協会愛媛支部、新居浜子育てネットワークが協働して対等な立場で事業を開催することができ、相互理解が進んだ。</p>
市	<p>講演会では多くの方の参加が得られた。アンケートを見ると、「子どもたちへの環境作りが親の責務である。」、「夢を持って子育てすることの大切さを感じた。」、「親の背中を見て子どもは育つ。」等の感想が聞かれ、父親の多くは積極的に子育てに関わりたいと思ってくれた。育児教室では参加者が少なかったが、参加者からは関わり方を学ぶことができ、これからの子どもへの接し方に大いに参考になったと満足してもらえた。</p>
相互協議結果	<p>今回の事業を通して、父親だけでなく母親も含めた実施方法や場所、内容の工夫等検討する必要性を感じた。市民団体ではそれぞれ次年度も活動し、子育て中の方や子育てに困っている人に学ぶ場を提供していく予定であり、お互いに連携をしながら、気軽に関わり方を学んでもらえるよう機会を提供したいと考えている。</p>

